

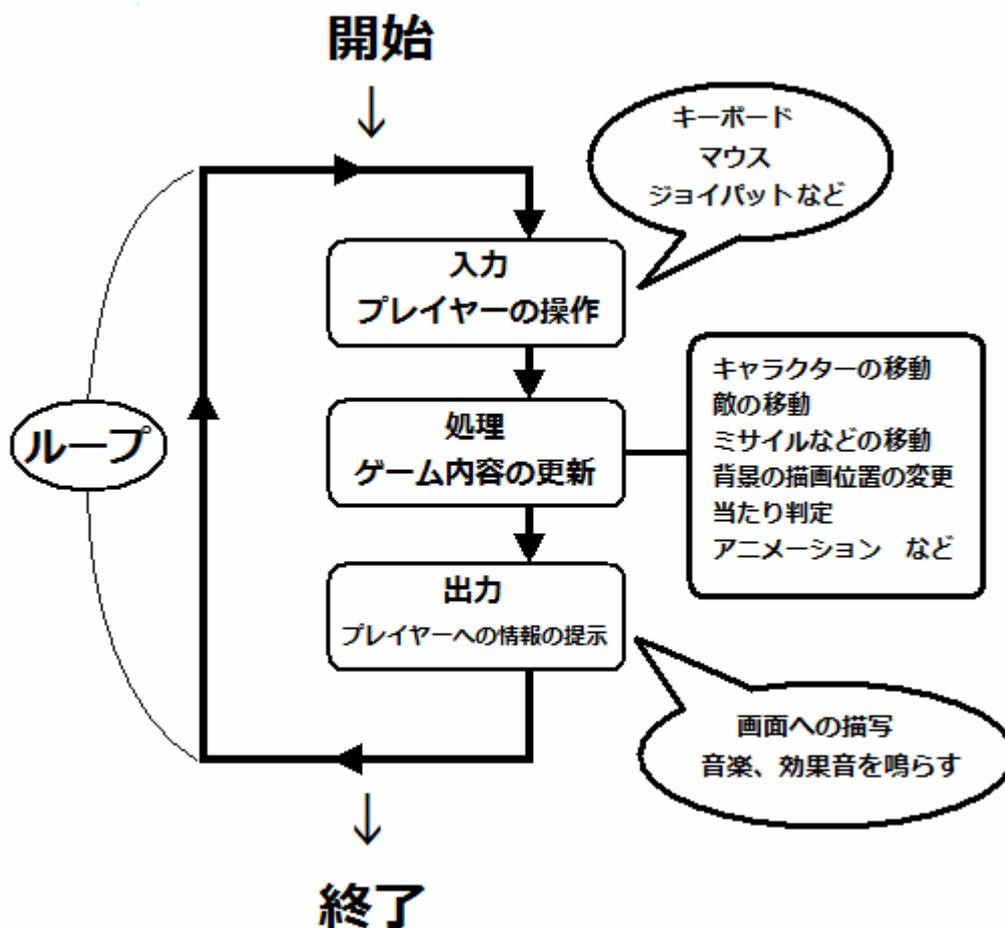
ゲーム制作勉強会 ループ編

ループとは同じ処理をくりかえすこと。(例：for 文や while 文)

ゲームは常にループしています。

ゲームを終了させない限り、処理を行います。

これをゲームループといいます。



ゲームループはプレイヤーとのコミュニケーションを円滑にするための、仕組みのことです。

F P S について

通常、ゲームは F P S によって管理されています。

F P S : (Frame Per Second : 単位秒あたりのフレーム数)

動画のなめらかさなどを表す指標。1 秒間に何枚の画像を表示しているかを示します。

1 フレームというのは 1 ループのことです。

ゲーム内では、一秒間に 6 0 回ループしています。

通常のゲームでは 1 秒間に 60 回の処理を行うようにしています。なぜなら、ディスプレイ (画面) の更新が 1 秒間におよそ 60 回であるからです。これをリフレッシュレートといいます。

多くの処理をしたりたくさんの描画をしたりすると、処理が重くなり F P S の値が小さくなります。これを処理落ちといいます。



ゲームで F P S 管理を行わないと . . .

パソコンの処理速度によってゲーム自体の速さが変わってしまいます。つまり、環境によって全く違った難易度のゲームになってしまいます。

(処理速度が速い ゲームスピードが速くなる)

対策として、F P S の上限を固定するなどの方法があります。

プログラムで見るゲームループ

プログラムの流れ

```
main()
{
    初期化(データの読み込み)

    //ゲームループの開始
    while(1)
    {
        入力(キーボード、パッド)
        ゲーム処理
        出力(画像、音)
    }

    終了処理
}
```

シューティングゲームの場合

```
main()
{
    初期化(自機、敵、弾、ステージなど)

    ///ゲームループ
    while(1)
    {
        (1) 入力
        (2) 自機移動
        (3) 自機からの弾の発射
        (4) 敵の移動、弾の発射
        (5) 弾の移動(自機、敵)
        (6) 自機の弾が敵に当たっているか調べる
        (7) 敵の弾が自機に当たっているか調べる
        (8) 画面に出力、音を鳴らす
    }
    終了(スコアなどの保存など)
}
```

基本的に(1)～(8)までの処理を繰り返します。

もう少し具体的な例

```
main()
{
    初期化(データの読み込み)
    //ゲームループ
    while(1){
        PDRECT Src,Dst;
        static float x = 128,y = 480 -128;

        // 右を押していたら右に進む
        if(PDInput::GetKeyData( DIK_RIGHT ) ){
            x = x + 1;
        }

        // プレイヤーを描画する
        Src.Set(0,0,128,128);
        //Src.Set(画像をどこから切り取るか X,Y,画像をどんな大きさを切り取るか X,Y);
        Dst.Set(x,y,128,128);
        //Dst.Set(画像をどこに表示するか X,Y,画像をどんな大きさを表示するか X,Y);
        PDSprite::Draw(TestGraph,&Src,&Dst);
    }
    終了処理
}
```

この例は部内で使用しているPDライブラリを使っています。

<発展>

ゲームの状態にはゲームメイン、タイトル、メニュー、オプション、ポーズなどがあり、それぞれに対する処理が必要です。

ゲームの状態を表す変数を作って処理を分けると良いです。

```
void Game()
{
    static int GameState = 0;
    if(GameState==0){
        //タイトル画面を表示
    }else if(GameState==1){
        //メニュー画面を表示
    }else if(GameState==2){
        //ゲーム画面を表示
    }else if(GameState==3){
        //ポーズ画面を表示
    }
}
```